

謹賀新年 新年を 迎えて



志木市長 香川 武文

明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、新春をお健やかに迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

平成28年を振り返って

さて、平成28年を振り返りますと、本市の市民協働施策の柱である地区まちづくり会議では、第一期メンバー137人による2年間の思いのこもった「活動実践報告書」を6月にいただきました。市内7地区の地区ごとに異なる地域課題の解決に向けた提言は、しっかりと今後の市政運営に活用していきます。

また、7月に発足した第二期のメンバーである76人の市民の皆さまと35人の市職員がいっしょになって、各地区ごとに異なるさまざまな地域課題の解決に向けて、熱い議論が現在展開されています。本年は、いよいよその議論の内容を実践に移す年であり、各地区から提案いただく内容、実施いただく事業を楽しみにしております。

次に、市民の健康づくりに関する取組では、平成27年から65歳健康寿命県内第1位の奪取に向けて実施している「健康寿命のばしマッスルプロジェクト」の取組が高く評価され、6月に埼玉県健康寿命優秀市町村表彰を、11月には国の厚生労働省健康局長自治体部門優良賞を受賞しました。

本年は、この賞を励みとしながら、これまで以上に市民の皆さま方の健康寿命の延伸を目指して、特に食生活に着目し、新たに「減塩」をキーワードとした市民ぐるみの健康づくり施策を積極的に展開していきます。

一方、災害対策の面においては、8月に台風第9号が関東地方に上陸し、本市でも道路冠水のほか床上浸水・床下浸水の被害が発生しました。改めて、被害を受けた皆さまに心からお見舞い申し上げます。

この経験を教訓に、台風などの大雨時の雨水流出抑制対策や、既に今年度から進めている道路横断側溝の増設や集水柵の改修に加えて、地域へ土のうステーションの設置など、市民力と合わせた災害に強いまちづくりに向けた体制の整備を進めていきます。

本年予定している主な事業

では、本年に予定している新たな事業について、いくつかご紹介させていただきます。

まず、子育てに関する施策として妊娠期から出産・子育て期に至るまで、切れ目のない支援をさらに充実させるため、新たに「子育て世代包括支援センター」を整備し、新規事業を展開します。

また、安心子育てサポート事業として出産後のケア事業の充実や生後2・3か月の親子を対象とした「はじめて赤ちゃん学級」など、出産直後から利用できるサービスを新設し、きめ細かい支援に取り組みます。

さらに、子育てを支援する新しいサービスとして、民間事業者の力をお借りし、志木駅東口駅前の保育施設でお預かりしたお子さんを、各保育園などにつなぐ「保育ステーション事業」をスタートさせるなど、保育環境の充実についても一層の推進をしていきます。

次に、市では公共施設の管理に関する施策として、公共施設の更新、統廃合、再配置などについて、市民サービスを低下させないよう配慮しながら、公共施設の整備を進めていますが、本年は、建設から40年を経過し、老朽化による施設の劣化が生じている老人福祉センターの機能を、総合福祉センターに移転します。

また、柳瀬川図書館も大規模な改修工事を実施し、市民の学習環境の充実を図っていきます。市民の皆さま方には、しばらくの間、ご不便をおかけしますが、リニューアルされる施設は、しっかりと機能強化が図られますので、楽しみにお待ちください。

さらに、震度6～7の規模の地震に対し、「倒壊または崩壊の危険性が高い」市役所庁舎の建て替えについては、基本設計及び実施設計候補者の選定作業を進め、3月には、プロポーザル方式により設計候補者を決定し、平成34年度の完成を目指し、準備を進めていきます。

今年も、全力で市政運営に取り組んでまいります。市民の皆さまのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。